

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 5月 31日公開
ガザ地区、シリア、トルコ、イタリア政府の転落と欧州連合の崩壊
(日本時間：2018年6月1日午前1時～イスラエル時間5月31日午後7時～)

.....

皆さん、シャローム！イスラエルのガリラヤより、アミール・ツアルファティです。

今日は、ガザについて、それから中東で起こっていることに関して、非常に面白いアップデートがあります。

まずは、ガザから始めましょう。たくさんの方が「一体どうなっているんだ？」と思っておられるでしょうから。恐れながら言いますと、皆さんが考えておられること、思っておられることは、実際に現場で起こっている事よりもはるかに悲惨です。

どこから話せばよいでしょう…まず、皆さん理解しておいてください。

ガザ地区は、世界で最も人口密度の高い地域です。小さく細長い地に200万人が住んでおり、彼らの政権は、公認テロ組織です。これらのテロリストたちは、イスラエルに敵対して、ほぼ毎日のようにテロ活動を行なっています。しかし、敵対しているのは、イスラエルに対してだけでなく、エジプト人に聞けば、彼らに対してもそうだ、と答えるでしょう。それだけでなく、これらの人たちが利用している最大の脅威、ハマスは、自分達の民に対してなのです。ガザ地区は、2005年にイスラエルが撤退して以来、世界にとっては大切な場所となっています。あの時我々は、あの地域からイスラエル人全員を撤退させ、パレスチナ人が自分の事を考え、自分たちであそこを支配するようにと明け渡したのです。世界は、ガザ地区に何十億ドルという資金を与え始めました。私が何十億ドルと言う時は、正真正銘何十億ドルというお金です。しかし残念ながら、この資金を使って、新しい学校、工場、幼稚園、病院、こういったものは一切建てられていません。ハマスは、これらの資金を受け取り、それを支配していますが、ハマスがこの資金を使ってしている事と言えば、自分達の民から生活保護の資金を奪い、それを使ってテロトンネルを建設し、武器を購入し、保管し、開発して、それらをいつでも好きな時にイスラエルに向けています。

そしてなんと、5月14日に平和的デモを行なっていることを、世界に示すことに彼らが失敗した後、——彼らが間違っていることを、我々が証明しましたから。あれで殺された人たちは皆、彼らのテロリストだったのです。

あの失敗の後、イランに起こっている事の代わりに——イランはほぼ毎週のように、現場で敗北しています。イランはハマスに、南部で自分たちのペテンを行わせようと押し始めました。イランが彼らを指導しているのです。実際、ハマスの指導者がそれを認めています。

彼らは毎日イランと連絡を取り、

イランからお金を受け取り、

イランから武器を受け取っている、と彼らは言うのです。イランは、自分たちがイスラエルと戦えないのなら、もちろん、周辺の彼らの代理を使おうとします。しかしこれは、何も新しい事ではありません。ハマスはずっと前からあそこにいます。ヒズボラは、ずっと前からレバノンにいます。

さて、現在はエゼキエル戦争への備えで、本当の本当に平穏なのか、

なぜ、私はそう思うのかについて、この後お話しますが、ただその前に、皆さんに理解してほしいのは、こういった周期的な暴力は、2、3年ごとに繰り返されているのです。彼らはロケットを発射し、我々は彼らに徹底的に報復します。

彼らは助けを求めて叫び、我々は、お前たちが静かにすれば我々は静かなのだ、と彼らに理解させる。それだけです。

今回もそれが起こったのです。彼らはロケットを発射し始めた瞬間から 21 時間かけて、100 発近くのロケットや迫撃砲弾を、ガザ地区周辺のイスラエルの町村に飛ばしました。そこでイスラエルは報復を始め、最も重要な標的を 65 ケ所攻撃しました。

イランの時と同様です。



イスラエル軍が報復した重要標的の地図

我々は、彼らが愚かな事を行うまで待ち、それから攻撃しました。

彼らがドローンを作っていた工場、ロケットを造っていた工場、テロ用トンネル、訓練センター、監視塔、観測本部、我々がそれをただ破壊したら、彼らは、イスラエルの局地的な攻撃に、物凄い衝撃を受けたのです。我々は、パレスチナ人を一人も殺さず、ハマスに属しているもの全てを破壊しました。彼らは直ちにエジプトに電話して、助けを呼び求めました。

「イスラエルを止めるのを、助けてください!!!」

彼らがロケットを撃ち始めたのです。

そして、我々が報復すると、彼らはエジプトに、我々と話をして止めさせるように懇願します。

そこでイスラエルは、

「止めて欲しければ、そちらが撃つのを止めろ。そうすれば、我々は報復しないのだから。」

と言うようにしています。実に簡単な事です。

ちなみに、これが中東における闘争の全貌です。

もし彼らが武器を置き、我々と平和に暮らすなら、イスラエルは報復する必要もなければ、先制攻撃をする必要もありません。

イラン人がイランに留まり、レバノン人がレバノンに留まって、パレスチナ人が自分たちの場所に留まれば、もう、中東に戦争はありません。

問題は、イスラエルがバイルートやダマスカスを占拠したいとか、イスラエルが我々の周辺諸国や首都を占拠したいとかではありません。

違います。

我々が求めているのは、ただ彼らが止める事です。

事実、イスラエルの軍隊の名前は IDF (Israel Defence Forces)、イスラエル“国防”軍です。我々は、自分たちを守ることを決意しています。ですから、危険を目にし、我々に対する策略が練られているのを目にし、我々に敵対する武器が保管されるのを目にすれば、我々はすべき事を行います。

ですから、もし彼らが止めれば…私たちはいつも言うのですが、もし、アラブ人たちが戦うのを止めれば平和があり、もし、イスラエル人が戦うのを止めれば、イスラエルに平和が無くなります。

これが違いです。違いは、彼らは彼らのものでないものを奪おうとしており、彼らは、自分たちが我々に置き換わろうとしていますが、我々は、自分たちが置き換わろうとはしていません。これが全てです。

ですから我々は、パレスチナに言いました。

「そちらが武器を置いて戦いを止めれば、我々はもう、報復はしない。」

これが実際に起こった事です。それだけです。

イスラエル人は一人も死んでいません。

サッカー場と民家の裏庭、この二ヶ所を除いては、何も起こっていません。

アイアンドームが、ロケットの95発を空中で破壊しましたし、落下した数発の内、何かに当たったのは、たったの2発、それだけです。



アイアンドーム

皆さん、メモリアルデーにシカゴで起こった事よりも、こちらの方がダメージも少なく、死者も少ないのです。ご存知でしたか？

私の言いたいことはシンプルです。

世のメディアは大きく見せようとします。

パレスチナ人の利益になるからです。それと、特にハマス。

「見ろ。俺たちが望めば平和でも、戦争でもなるのだ。」

と。彼らは、イスラエルの安全に関する力や鍵を、自分たちが持っているかのように世界中に伝えます。しかし現実には、彼らがエジプト人に懇願して、イスラエルを止めるよう仲裁に入ってもらった事を、彼らも分かっています。それを彼らは、自分の民には伝えません。なぜかと言えば、パレスチナ人の作戦の一つは、——我々の周りの非常に多くのアラブ諸国も同様ですが——「真実を言うな。自国民には、真実を隠せ。」事実、パレスチナ人たちの多くが、イスラエルのメディアを観ているというのはご存知ですか？もし事実を知りたいなら、イスラエル人のいう事を聞くべきであることを、彼らは知っているのです。

「我々の上の者たちは、いつも私たちに嘘をつくから」

と。皆さん、理解しておいてください。アラブ界が言うには、彼らは、イスラエルと戦ったすべての戦争で勝っているそうです。しかし、1948年、1967年、1973年に彼らは負け、これらの日々を彼らは「大惨事の日」としているのです。彼らは勝利を宣言していますが。物凄く興味深いです。ところで、これはイスラムの典型的なやり方で、目標を達成するために嘘をつくことは許されるのです。このイスラムのタキヤ（嘘）は非常に

シンプルで、これを理解しない限り、なぜイランとの合意は、調印された紙切れとしての価値もないのかということを決して理解することは出来ません。彼らは、彼らの宗教の一環として、世を欺いているからです。彼らの利益になるなら、何でも許されるのです。もし、嘘が利益につながるなら、欺きが利益につながるなら、隠蔽が利益に繋がるなら、それは構わないのです。「私たちは嘘をつきました」とか、「約束を破りました」とか、彼らは責任を感じたりはしませんよ。

「我々は真実を伝えた！我々にとっての真実とは、お前たちに対して、嘘をつかなければならないということだ！」

それが真実なのです。

そして今、ハマスは自分の民に告げています。

パレスチナのイスラム聖戦主義者たちも、自分の民に告げています。

「我々が勝利した！我々が始め、我々が終了させた！我々が全ての鍵を握っているのだ！」

これはデタラメですよ。

皆さん、ここだけの話、イスラエルは、ハマスもジハーディストもパレスチナ当局も、20分以内に滅ぼすことが可能です。我々には、それが可能なのです。しかし、我々がハマスを滅ぼさない理由は、あちらに住んでいる200万人のパレスチナ人は、我々が支配するより、ハマスが支配する方が良く、と我々が思っているからです。

我々は、あそこに30年間いたのです。

1967年から1996年、1995年まで、イスラエルはガザを支配していたのです。

イスラエルがまだガザにいた頃、私は西岸地区とガザ地区の軍政府の一員で、エリコの総督代理だったのです。皆さん、イスラエルはガザ地区の200万人のパレスチナ人を支配したくはないのです。我々には、そんな責任は要りません。だから我々は常に、出来る限り厳しくハマスを叩きながらも、彼らに自分たちの民を治めさせるために、彼らをそのまま残しているのです。そして、ガザに流れた巨額の資金の使われ方を監視する必要が多分にあることを、世が理解するように、我々は望んでいるのです。そうでなければ、彼らがしている事と言えば——私たちは、また新たなトンネルを破壊しました。そのトンネルを建設するのに、彼らは延々と時間を費やし、何千万ドルもの資金をかけたのです。それを、我々は簡単に破壊しました。我々は、次から次へと新たなトンネルを発見していますが、もしこれらのトンネルが建設されていなければ、その資金で病院をもう一軒、学校をもう一軒、幼稚園をもう一軒建設できたことでしょう。それで人々の生活を向上させ、改善することが出来たのです。しかし彼らは、それを望んでいないのです。彼らがどれほど貧しく、どれほど状態が悪いか、どれほど悲惨な状態かを、世界に見せていることが出来ている限り、彼らは世の注目を集められるのです。そうすれば、彼らは“私は不幸な人”カード、“私は誰かさんに利用されている”カードを使うことが出来るのです。それだけですよ。

現実には、イスラエルはもうずっと前からガザ地区にはいないのですから。

彼らの民は、彼らの責任です。しかし彼らは、自分たちの民のために何もしません。ガザで起こった事は大きなことではありません。分かりやすく言えば、それは何の意味もありません。我々は、やろうと思えば彼らを滅ぼすことは出来るのです。しかし今回は、そうしない事を選びました。今回は、テロ攻撃に関わった彼らの社会基盤施設を破壊する方を選んだのです。我々は、ハマス政権を完全に倒すことはしたくありません。彼らに、彼らの民を支配させなければならないからです。我々は、ガザの彼らの領土に入って、彼らを支配することはしたくありませんから。

したくないのです。皆さん、以上が状況です。

イスラエルは、ガザに電気も食料も薬も物資も提供しています。

あちらに住むパレスチナ人にとって、我々が生命線なのです。

それが何と、彼らのロケットのいくつかは、電線に命中して、ガザに電気を提供している電線の3本が破壊されたのです。彼ら自身のロケットによってです。

彼らの発射したロケットのせいで、結局暗やみの中で過ごしたのは、彼らなのです。

このように、彼らは我々が与えたエリアを燃やしました。

我々は、彼らに食料や薬を与えましたが、彼らはそれを燃やしたのです。

これはもはや、自殺願望のある人が、刃物で自分を切っているに等しいのです。

毎回、彼らが攻撃するのは、彼らの生活を良くするために、あちらに与えられているものですから。

しかし彼らは、貧しく、恵まれない、迫害されている人たちだと見られたいのです。

彼らはそれを求めているのです。

しかし、それはもう使えません。

新しい保安官が町にいますから、それはもう使えないのです。

彼の名前は、ドナルド・トランプ。

トランプ大統領は、パレスチナに言いました。

「被害者のように振る舞うのを止めろ。お前たちは毎月、テロリストの家族にお金を払っている。お前たちの年間予算の半分は、テロリスト家族に払うために使われている！

お前たちはテロを奨励しているじゃないか！」

「自分が自殺を計れば、自分の家族は良い生活を送れるのだ。だから家族のためにそれをする。彼らは、一生給料がもらえるのだから」

と言う人がいました。

皆さん、理解しておいてください。トランプ大統領は、これを終わらせます。そして、彼の指導に続いて、サウジ、バーレーン、アラブ首長国連邦その他の目がどんどん開かれて、彼らがお金を与えることは、実際には状況改善ではなく、状況を維持しているだけで、何の助けにもなっていないと理解しています。以上がガザの出来事に関してです。もしあなたが、2日前の20時間ちょっと続いたあの出来事のために、イスラエルが安全ではないと考えているのなら、その考えは捨てましょう。

シカゴの方が、イスラエル人の住むガザ地区周辺地域のどこよりも危険です。

皆さん、理解しておいてください。

イスラエルには、もはや絶滅の危険はありません。

イスラエルでは、——私たちは1948年から1973年まで、明日、自分たちはここにはいないかも知れない、と感じながら生きていたのです。

何の事かと言えば、何千人もの兵士が死んだ、大きな戦争です。

そこから回復するのに、何年もかかりました。それが戦争というものです。

こんにち、私たちが目にしているのは、前代未聞の繁栄、史上最低の失業率、イスラエル通貨の為替レートは現在世界最強です。

皆さん、こんにち我々が目にしているのは、イスラエルが繁栄している、驚くべき状況です。世界の指導者たちは、ネタニヤフ首相と会うために列を成しています。

我々は現在、非常に多くの分野で世界最先端を行っています。それは、平和や安定が欠如した空気ではありません。

事実、アップルやサムスン、インテルその他、マイクロソフトとかそういった会社が何億ドルという額をどんどんイスラエルに投資しているのです。もし彼らが、ここは平穏ではない、危険だと思ったなら、彼らは絶対にこんなことはしなかったでしょう。

イスラエルは、これほど良い時代はなかったのです。

イスラエルの独立以来、70年の歴史の中で、こんにちのような良い時期は一度もありませんでした。

問題は、こんにちのソーシャルメディアの力が、小さなハエを捕まえて、象のように見せているのです。人々はイスラエルにロケットが飛来するたびに警報が鳴る、レッドアラートのアプリをダウンロードして、そのアラートがブルブルなるのを聞いて、

「イスラエルが攻撃されている！」

「イスラエルが滅ぼされそうだ！」

と言うのです。

皆さん、イスラエル人のほとんど、99.8%の人たちが、報道されているようなことは何も聞いていません。私たちはガザ地区周辺に住んでいませんから。

皆さん、理解しておいてください。

もちろん、私たちもニュースを見て、何が起きているか理解しています。

しかしイスラエル人にとって、ガザでの対立は存在を脅かすものではありません。

あれは頭痛です！それには同意しますよ。彼らは頭痛のタネです。

しかし、それ以上のものではありません。

ガザに住むパレスチナ人に関しては、彼ら自身よりも、我々の方がよっぽど心配していますよ。現在の我々の悩みは、「どうやってテロを止めようか」ということではなく、「どうすれば、ガザの人々に良い暮らしが提供できるか」。そうすれば、彼らはテロを止めますから。我々が現在対処しているのは、彼らを世話することであって、彼らを滅ぼすことではありません。

皆さん、理解しておいてください。

イスラエル軍の目は、現在ガザには向けられていません。

それらは、シリアで起きている事に向けられています。

あちらでの、イランの地位確立、ロシアの地位確立、トルコの地位確立に向けられているのです。ということで、以上がガザ地区に関してです。

多くの人が、エゼキエル戦争は近づいていない、という考えを押しつけています。エゼキエルは、安心安全なイスラエルについて語っているためです。言っておきますが、エゼキエルが見たものは、現在私が自分の国で見ているのと、全く同じです。

だから私は物凄くワクワクしているのです。

私は恐れていませんよ。私はこれら全ての事を見て、ワクワクしています。

ただ、皆さんに理解しておいてほしいのは、これは違うものだとか、エゼキエル戦争の前に他に戦争があるとは、私は信じていません。なぜかと言えば、まさに目の前で、エゼキエルの同盟国が形作られる様子を、私たちは目撃しているからです。

そして言うておきますが、イスラエル人として、また、新生して聖霊に満たされた兄弟としてだけでなく、軍人として、イスラエル市民として、イスラエル国家に住む者として、今この瞬間、ここで私に見えるものは、ヨーロッパやアメリカ、オーストラリアからは見えません。ここに住まない限り、イスラエルがどれほど平穏かを理解することは出来ません。

ある人たちが、人々の注目を引こうとして、時々ライブ配信をしては

「ロケットがここに落ちた！」とか

「ロケットがあそこに放たれた！」とか

「イスラエルが攻撃されている！」

などと報道しているのは、私も知っています。

それはデタラメですよ！

だから私は、これには一切関わらないのです。

これは一日で終わること、彼らが「止めてくれ」と私たちに懇願することを、私は知っていますから。今回起こったのも、それだけの事です。

余りにも多くの人の、無駄な発狂っぷりやセンセーショナルに、私たちが疲れ切ってしまうまいやうにと、ただただ願いますよ。

パレスチナで起こった事は、本物の危険から我々の目を逸らすための何ものでもありません。本物の危険とは、北から迫ってくる嵐であって、それが問題なのです。嵐は迫っている、私たちは嵐の前の静けさの中にいます。聖書は、その嵐が北の果てからやって来る、と告げています。

それはロシアからやって来ます。

それはシリアからやって来ます。

それはトルコ、イランからやって来ます。

それは来ます。そして言うておきますが、それはイスラエルに存在危機をもたらす戦争です。私は、それを戦争と呼びます。

今、我々に起こっている事は、何でもありません。

ガザや、ゴラン高原などで民兵が撃つ数発のロケットなど、何でもありません。

そんなもの、戦争とさえ見なされていません。

イスラエルの目は、そこには向いておらず、我々はパレスチナよりもはるかに大きく、はるかに激しく、はるかな脅威が形成される様子に目を向けているのです。

私たちは、それを理解しなければなりません。

ここに住んでいない人は誰一人として、私が理解しているのと同じようには理解出来ないと思います。

だから私は、私に出来る唯一の事、ここから報告し、ここにいて、皆さんに伝えているのです。

ここにいる者を信頼するのか？

他の場所において、別の戦争が起こると日夜憶測している者を信じるのか？

気をつけて!!!

皆さん、イスラエルはヒズボラを恐れてはいません。

確かに、彼らはロケットを持っていますよ。だから何ですか？

我々には、アイアンドームがあります。

確かに彼らは資金を持っていますよ。だから何ですか？

我々の方が強いのです。

皆さん、理解しなければなりません。ヒズボラ、ハマスはイスラエルの存在を脅かすものではありません。これらはテロ組織であって、国でもなければ軍隊でもありません。彼らは戦車や戦闘機、弾道ミサイルでもなく、彼らはただ、お金をもらってイスラエルに敵対して戦う以外、他に何もすることのない、他に人生の楽しみが無い、甘ったれた悪ガキ集団に過ぎません。彼らは、宗教的に洗脳され、経済的に困窮していて、アーヤトollahやパレスチナの指導者のようなリーダーたちに利用されているだけ、それだけです。彼らは、自分たちの指導者たちが超億万長者になっている中で、自ら死んでいるのです。

ご存知ですか？パレスチナ大統領は超億万長者です。

何故でしょう？それは、パレスチナ当局に渡るお金の半分は、彼の懐に入るからです。それをパレスチナ人が私に言ったのです。といっても、私がそれを知らなかったわけではありませんがね。当時、我々がパレスチナ当局を構成した当初は、イスラエルが税金を集めてパレスチナに払っていたのを、私は覚えていますから。我々が税金を集めて、パレスチナに渡していました。そしたらなんと、パレスチナ側は私に、二つの銀行口座を個人的に渡して来たのです。一つは公のパレスチナ財務用、そしてもう一つは、彼ら身内の個人口座です！ですから、我々は何が起こっているのか知っています。彼らは、他の世界からは奪い、欺くことができますが、我々は欺けません。そして彼らは、我々がそれを知っていることを知っています。だから彼らは、我々を黙らせようとするのです。しかしそれは、上手く行っていません。

ということで、以上がガザのペテンについてです。

落ち着いて、リラックスしてください。

イスラエルはそれに脅かされてはいません。

これは頭痛のタネで、私たちは対処します。

数年ごとに彼らは、自分たちの民に、自分たちの存在を見せつけたいのです。

ところで、彼らがこれを行う理由の半分は、イスラエルを攻撃するためではありませんよ？彼らは、絶対に勝てないと分かっていますから。

彼らは、自分たちの民に見せなければならないのです。

「我々のしたことを見ろ！我々は強いのだ！我々が指導者だ！」

とか何とか。それだけです。これは彼らの個人的、内部的な理由以外の何ものでもありません。

ですから私たちは、無駄な発狂を避けなければなりません。私たちは冷静にならなければなりません。イスラエルは安全です。私の背後を見てください。

F-16 も全く離陸していません。

つまり、何も大したことがない、という意味です。

皆さん、言っておきますが、私は恐れていません。私は、世界中を訪れる時の方がはっきり言って、自分の国にいる時よりも、はるかにずっと恐れます。これは明確にしておかなければなりません。

ということで、ガザについては終わりです。今は、ガザについては話すのを止めましょう。皆さんがご理解されたことを願います。

今度は、トルコについてお話ししましょう。

現在、物凄い事が起こっています。

トルコは、アメリカのインジルリク空軍基地の使用を禁じることを、彼らが検討していると発表しました。この空軍基地は、今のトルコの南東部に位置します。



インジルリク空軍基地の位置（赤い矢印で示された箇所）

シリアとの国境から数マイル（1マイル=1.6km）の場所です。この空軍基地は、シリアの第10航空団の本拠地で、——さらには、信じられないかも知れませんが、そこには約5,000人のアメリカ軍の補体が存在します。私が聞いた、ある情報源によると、インジルリク空軍基地の中には、アメリカ軍が自身の補体を持っていて、そこに50の核弾頭があるそうです。

想像出来ますか？

最近分かったことですが、イスラエルがトルコに与えた技術を、トルコは売却していました。イスラエルは、トルコがNATOの一員であり、その安全を犯すことはないと分かった上で渡したのですが、彼らはそれをイランに売りました。

現在のトルコは、信頼できません。彼らはアメリカに敵対し、NATOに敵対していて、——当然、彼らはイスラエルにも敵対しています。アメリカはもはや彼らを信用できないと気付いて、こう言ったのです。

「当時のトルコは、F-35のプロジェクトに関わる事が出来たが、彼らにF-35を売るべきかどうか、定かではない。」

そして、今、アメリカは

「恐らく、するべきではないだろう」

と言っています。

すると、トルコが即座に決断しました。

「それなら我々は、ロシア製のステルス戦闘機を買おう。」

つまり、現在ロシアが製造中の、スホーイステルス戦闘機です。

このように、非常に興味深い事が起こっています。トルコがF-35の代わりに、SU-57/スホーイ57の購入を検討中。もちろん、F-35ほど優れてはいませんが、彼らはロシアとの同盟関係を強化し、自分たちはもはやアメリカ側ではない、と世界中に知らせたいのです。

現在、アメリカは大きな問題を抱えています。彼らは、トルコの中から、これらの核弾頭を取り除かなければ

なりません。しかも、あちらで問題を生じることなく、それをしなければならぬのです。皆さん、このように現在、アメリカトルコとの間で、緊張が高まっています。トルコとロシアとの同盟関係がますます強くなっています。これがまさに、ロシアが求めている事です。ロシアは武器を売りたいのです。



F-35 戦闘機（左）と Su-57 戦闘機（右）

ロシアは、何億ドルと言う資金を生み出す、イラン協議に期待を懸けていたのです。そうすれば、彼らはロシアの武器を購入できますから。石油価格が低迷し、石油とガス輸出に関して、アメリカが大競合であるために、ロシアの武器産業と軍事産業は、現在のロシア経済の“ジャックポット”（書記注：ギャンブルにおける大当たりのこと）なのです。

ロシアは、イラン、トルコ、シリア、それからその周辺諸国への武器システム販売に、大きく投資することを願っています。今私たちには、この同盟関係がロシアの利益だけが基となっている理由が分かります。これはかなり興味深い事です。

次に、イスラエルとロシアの対話について、少しだけお話ししましょう。

ベニヤミン・ネタニヤフは一時間ほど前、ヴラディミール・プーチンとの対話を終えました。しかしその前に、ヨルダンのアンマンで、より緊迫した会談が持たれていました。そこでイスラエルとロシアが、次のことに合意したことが分かっています。

イランとヒズボラの全勢力を、シリア南部でのシリアの作戦に加えないだけでなく、イスラエルに近い全地域から、彼らを撤退させる。

これの驚くべきポイントは、ロシアが今、世界中に

「シリア以外の勢力は全て、完全に撤退させるべきだ」

と宣言しているということです。

これは、我々の国境からイランを押し除けようと努めてきた、イスラエルの大勝利です。いろいろな人が、「アミールさん、一方ではシリアでイラン・トルコ・ロシアの同盟が出来つつあると言っているのに、どうしてロシアは今、イランではなく、イスラエルの味方をしているのですか？」

と聞いて来ます。これは非常にシンプルです。

ネタニヤフ首相が、Fox News の Judge Jeanine のインタビューで上手いことを言っていました。彼は、

「ロシアは、友としてイランを求めている。そうすれば、彼らに武器が売れますから。しかし、だからといって、シリア国内で彼らと関わりたくはないのです。」

と言いました。

ロシアがシリアにやって来たのは、ものを分捕るため、エゼキエルによれば、彼らがそれをシリアから出来

なくなると、イスラエルから分捕ろうとします。ただ彼らは、公に堂々と

「我々は、シリアのガスと石油が欲しいのだ！」

と言っています。問題は、石油の 80%は現在、アメリカ合衆国が支配している地域にあるのです。二ヶ月前、およそ 400~500 人のロシア民間兵士による大襲撃がありました。傭兵(ようへい)です。彼らは、あちらでアメリカの部隊と油田に大襲撃を仕掛けましたが、アメリカは非常に決定的な行動に出て、——ところで、ベンガジとは大違いですよ？アメリカは、その民間兵士の 200 人以上を殺害しました。お分かりですか？ロシア人たちは 200 以上の棺をロシアに送ったのです。ロシアはそれを決して認めません。これは Wagner と呼ばれる民間兵士で、ロシアの兵士として記録されていないのです。ロシアは「自分たちはそこにはいない」と言っていますから。現実には、彼らがそこにいるだけでなく、彼らは全員が元精鋭軍である Wagner の傭兵を使って、これらの油田やガス田を、占領しようとしているのです。物凄いのは、現在アメリカは、自分たちがその地域を支配していることを認めていませんし、ロシアは自分たちがそこを占領しようとしている事さえ認めません。このように、ロシアは“ものを分捕る”のに、大きな問題に直面しているのです。そして、彼らが最も避けたいのは、イランのような別の役者に、シリア国内で関わる事です。

ロシアは、「イラン国内にいるイラン」が欲しいのです。

ロシアは、「イランがイランを防衛するための武器」を売りたいのです。

ロシアには、「シリア国内にいるイラン」は必要ありません。

だから、イスラエルとヴラディミール・プーチンの対話は、スムーズに運ぶのです。

現実には、我々は全く同じ私情を共有していて、その私情とは実に明確です。

イランがこのゲームから外れている限り、我々はアサド政権を倒さない。

我々は、そう言っているのです。

我々はロシアに

「あちらにはシリアの大統領がいて、彼が支配者である。もし彼が支配したいのなら、彼が支配するべきだ。ただ、イランがシリアで牛耳ることは、我々は認めない。」

と言いました。これが実際に起こっている事です。

つまりイランは、政治的にも軍事的にも、大きな損失に苦しんでいて、彼らはハマスに命じて、イスラエル南部で自分たちのペテンを始めようとしているのです。



パレスチナは、イランに利用されている

ということで、これがまさに現在起こっている事です。

それからもう一つ、お伝えさせていただきますと、現在ヨーロッパで非常に興味深い展開が起こっています。私はこれまでずっと教え、言って来ましたが、皆さんはご存知でしょうが、ダニエルの描写によれば、西暦70年に崩壊した第二神殿時代も、70週目も、両方とも同じ皇帝、同じ指導者が支配する、と告げています。ですから私は、西暦70年に神殿を崩壊させた旧ローマ帝国が、何らかの形で復活して、最後の週、キリストが地上に戻って来られる前の最後の7年間を支配する人物を生み出すのだと信じています。私は、ずっとそう言って来ましたが、西ヨーロッパから反キリストが出る、と私は信じています。ユーチューブチャンネルに異なる二つのメッセージが上がっていますので、まだご覧になっていない方はどうかそれらを観ておいてください。

① Europe ready for the Antichrist (日本語字幕: ヨーロッパ 反キリストの備えが出来ている)

② Europe closer to the Antichrist (2018年6月1日現在、日本語字幕はまだありません)

あちらで起こっていることを理解するためには、この二つのメッセージは必見です。

ともかく、ヨーロッパには問題があつて、現在欧州連合は加盟国が多すぎるのです。

ダニエルは、異なる10の軍隊、異なる10ヶ国を示唆しています。ちなみにこれは10本の角で、その内の3本は引き抜かれます。これが非常に興味深い事に、国々が次々と、欧州連合と同じ関心を示さなくなってきたか、もしくは脱退を希望しているのです。

イギリスは脱退を希望し、脱退しました。ところで、ジョージ・ソロスは彼らに戻そうと動いていますよ。

それだけではありません。イタリアでは3月、選挙がありました。イタリアの大統領セルジオ・マッタレラが、新しい同盟に拒否権を行使しました。



セルジオ・マッタレラ伊大統領

この男は、女王のように、実際には何も力を持っていませんが、彼が言ったのは、基本的には次のことです。

「私は、欧州連合に激しく敵対する、新財政大臣の Paolo Savona を認めていない。私は彼を財政大臣として承認していない。」



パオロ・サヴォナ氏

これは基本的には、イタリアの大統領は、欧州連合に反対する者は誰ひとりとして、イタリアの新政府に入れたくないということです。基本的に、この政権は創設できていません。前政府が反欧州連合派で、欧州連合を激しく嫌い、そこに留まることを望んでいません。そして、どうなったかと言えば、もしイタリアが欧州連合から脱退すれば、欧州連合は終わります。欧州連合は、1957年のローマ条約によって始まったのです。だから私は、1957年に調印された条約が、古代ローマ帝国の復興を象徴していると思うのです。



ローマ条約調印式が行われた、伊カピトリノ美術館ホール

ただ、よく考えてみてください。これだけでなく、現在イタリアが直面しているのは、——皆さん、理解しておいてください。イタリアには、2.3兆ドルの負債があります。これは非常に深刻です。これは総生産の130%で、60~70%を超えると大問題なのです。イタリア人たちはこのことを不満に思っています。欧州連合全体が、イラン協議から生じるお金を当てにしていました。この事は事実として、私たちは知っています。そしてイラン協議は現在、バラバラに崩壊しています。アメリカの撤退によって、多数のヨーロッパの会社が、イランとのつながりを止めていますから。他の会社がそれに続くのも、時間の問題です。

- ① エアバスは、イランに100機の飛行機の提供を契約しましたが、3機を提供して契約解除を決定しました。
- ② ドイツのシーメンス
- ③ フォルクスワーゲン
- ④ イタリアのダニエリ
- ⑤ デンマークのMaersk
- ⑥ スイスのBCF銀行までも、
全てがイランとの全契約を中止しました。

全ては、ドナルド・トランプ大統領のおかげです。ヨーロッパは、このトランプ大統領の大胆な動きに震えおののいています。彼らの経済は全てが負債の使い回しですから、彼らは困り果てているのです。彼らにはいくつかの案がありますが、それでも彼らは途方に暮れています。現在、ヨーロッパの協議のどれ一つとして、成

果を上げているものはありませんから。

それに加えて、夏が始まり、膨大な数の移民が今やヨーロッパに群がり、流れ込んでいます。2018年の初めから5月27日までの間に、7万人です。

7万人！

さらにそれは続いています。実際の移民期間が始まる前から、6万人がイタリアに入り、3,000人がスペインに、7,000人がギリシャに、キプロスにまで入っていて、それは始まったばかりです。スペインだけでも、移民が6,000人だった2016年から、昨年は21,000人、今年は倍になります。

皆さん、彼らは途方に暮れています。

イスラムテロは継続していて、フランスでも起こったばかりですし、ドイツでもありましたし、今後も続きます。

ところでイギリスでは、皆、EUを脱退すればイギリスは崩壊すると確信していました。しかし、イギリスは、EU無しでも大丈夫なようです。こう言った不吉な予感は何れも特に起こらず、現在、全てが崩れ去っています。

それに加えて、右派、左派の間での国内の緊張は、ドイツでも、イギリスでも、フランスでも、オランダでもあって、移民がその原因です。国内で、また国同士で、大きな分裂が生じています。暴力は明らかにますます増加していて、ヨーロッパは、現在の状況から救い出してくれる人物を待ち望んでいます。

ですから、現在イスラエルは、今のヨーロッパよりもはるかに平穏なのかと聞かれるなら。

それから今この瞬間、彼らは我々よりもはるかに大きな問題に直面しているのかと聞かれるなら。

これが答えです。

トランプ大統領は、

「国境は尊重されるべきだ」

と言い、彼は、無国境計画には一切賛成していません。

ドイツは、欧州連合に自由貿易を課して、それによって自身の産業を促進しようとしたが、その自由貿易が今、欧州連合に崩壊を招いています。そしてトランプ曰く、

「アメリカはこのような事を行なっている国に断固として立ち向かう」

とのことです。その一つに、彼らは欧州連合からアメリカへの鉄とアルミの輸出税を上げ、この新しいアメリカの政策のために、現在アメリカと、アメリカの産業は繁栄し、欧州連合は崩壊しています。皆さん、理解してください。この世界統一政府運動がしたことは、アメリカを弱体化させ、欧州連合を強化して、そして、欧州連合に危機をもたらして、巨大な地の巨大経済を支配するため、皆が同意する指導者が興るように仕掛けたのです。そこへ、アメリカの大統領にドナルド・トランプが選ばれた事は、この動きにとって大事故だったと、私は思っています。事実、この動きはアメリカを中心に行われていたのです。舞台裏で動いていた、これらの上流階級層、世界の富の60%を所有する者たちによってです。彼らは、彼らの候補者ヒラリー・クリントンが当選すると確信していました。それが、アメリカの人々がそれに反対票を投じたことに、彼らはショックを受けました。そこで彼らは、その動きをヨーロッパに戻し、マクロンのような人物を選んだのです。

このようにヨーロッパでは、一人の指導者の必要が叫ばれています。

現在、ヨーロッパには28の異なる指揮系統が存在します。

そして欧州連合は、現在崩壊寸前で、一人の指導者の下、新しいものとなりつつあります。これが興味深い

ですが、——私は、クリスチャンではない人が書いた報道を読み上げているのです。
彼らは、自分たちがダニエル書を引用していることを全く知りません。
彼らは、自分たちが聖書預言の話をしていることを全く知りません。
彼らは、ダニエルが見た通りに、物事が移行しつつあるのを知らずに、欧州連合の将来について、彼らの報道を書いているのです。

ということで、皆さん、イスラエルは安心、安全。

現在、ロシアとトルコの関係は、これまででないほど良好です。

イランは傷を舐めていて、こうして話している間にも、イランとヒズボラの勢力は、シリア南部を退散しています。彼らはイスラエルの命令通り、イスラエル国境からどんどん遠く離れて行っています。そしてイランは、この45日ほどの間に、我々がしたことに対する復讐の瞬間を、静かに座って待ち構えているのです。

ですから、我々が目にしているのは、嵐の前の静けさです。

どうか皆さん、疲れてしまわないようにお願いします。

もう耐えられない、と感じられませんかように。

このソーシャルメディアの時代、これに中毒になってしまうと、激しく落ち込むでしょう。

私が思うに、メディアが物凄い攻撃を受けている一つの理由は、彼らは人々を混乱させたいのです。人々を疲れさせて、実際に起こっていることを見せないようにしたいのです。備えをさせないために。

そこで私が、心の底から信じているのは、イスラエルと中東、それと世界中で起こっていることに関して聖書が告げている内容は、メディアが伝えている事よりもはるかにずっと正確である、ということです。

だから主は私を、実際に起こっている情勢に関して暗やみの中にいる膨大な数のクリスチャンのために、ここ中東の、ここイスラエルの地で現地特派員として召されたのだと思っています。クリスチャンの番組でさえ、非常にお粗末な仕事をしていると、私は思っています。物凄い過剰反応とセンセーショナリズムがインターネットを占拠していて、人々を脅かし恐れさせていますから。そして人々がパニック状態に陥っています。

どうか皆さん、理解しておいてください。

神が完全に支配しておられます。

私たちの周り全体で起こっていることを見て、預言者たちの言葉がこれほど明瞭に理解しやすくなったことはありません。

エゼキエルの同盟国が、そこにあります。

イスラエルの繁栄が、そこにあります。

欧州連合の崩壊のため、彼らの指導者への渴望がそこにあります。

全てが配置についてます。

聖書に留まってください。

優れたベレヤ人となってください（書記注：使徒の働き 17:10~11 参照）。

テレビやコンピュータではなく、いつも、常に、聖書と照らし合わせて、物事を試してください。

そして皆さん、どうか理解しておいてください。

私は前にも言いましたが、恐らく、もっと頻繁に言うべきなのでしょう。

私は今、「嵐の前の静けさ」の期間にいると思っています。

神がこの静けさを許しておられるのには理由があるのです。

- ① 膨大な数の人が祈り、そして神がそれに応えられた。
- ② 地域を戦争に向けて備えるためです。ロシア、トルコ、イランは、まず血を流さなければなりません。そしてイスラエルは繁栄しなければなりません。エゼキエルはイスラエルの繁栄について告げています。そして彼らが我々に攻めて来るのは、制覇し物を分捕り、略奪するためだと告げています。ですから、彼らが我々の持っている物を略奪する必要があるためには、彼らは血を流さなければならないのです。
- ③ トランプ大統領の存在は必要でした。将来反キリストが興り、神殿建設を認めるためには、エルサレムがイスラエルの手になければなりません。

今は、聖徒にとっては恵みの時です。従事し、見張り人となり、そして差し迫る私たちの出発に備えるためです。

皆さん、どうか覚えていてください。

いったん嵐が来ると、ノアの日ようになります。

前にも言いましたが、今、私たち信者は、自分の箱舟を建てているのです。

そして世界は、ただ世界の問題が全てです。

彼らはお祭り騒ぎをして、自分の事に夢中です。

私たちがなぜ、聖さや、聖い生活を命じ、どうして私たちがクリスチャンらしく生きようとするのか、彼らは理解しません。

なぜか？それは私たちは今、自分の箱舟を建てているのです。

その箱舟に、木のやにを塗っているのです。

面白いことに、「木のやに」はヘブル語で「Kopher כֹּפֶר」、贖いを意味しています。私が思うに、イエスの血が今、私たちの命を取り囲んでいるのです。



エドワード・ヒックス画「ノアの箱船」

それからまた、私たちは洪水に関わるよりも、自分たちの箱舟を建てることに、もっと必死になるべきで、今、私たちが嵐の前の静けさにいるということは、暗雲が近づいているのを、私たちは見ているのです。

私たちはまだ、乾いた場所にいます。

しかし一旦洪水が襲うと、私たちはその箱舟ごと挙げられます。

私たちは守られています。

他の人たちが恐ろしい洪水、恐ろしい神の裁きに襲われる時、私たちは引き上げられるのです。

ですから皆さん、どうか理解しておいてください。

私たちは、確実にノアの日々を生きています。

私たちは、確実に困難な時代に生きています。

ものごとは、どんどん困難になると私は思っています。

そこら中で、背教を目にしています。

道徳が崩壊するのを目にしています。それも世ではなく、教会ですよ！

神の事に関して、説教台で妥協しているのが至るところで見られます。

「悔い改め」という言葉は、もはや教えられていません。

神が、人に悔い改めをせまられる、全ての基本となる創世記が、もはや教えられていません。創造の物語が、もはや教えられていないのです。その全てが、それも内側から、これはキリスト教に対する、激しい攻撃だと思えます。

非常に興味深い事です。

私たちの中から「反キリスト（たち）」が出ると、テモテの手紙で伝えられている通りです（書記注：第二テモテ3章参照）。もちろんこれは、罪の人、滅びの子である、あの反キリストではありません。しかし私たちは、私たちの内側から、人々が敵として現れるのを見ています。

それからまた、聖書には、ヨハネ16章でイエスが言われました。

33 …あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。

（ヨハネ16:33b）

私たちは、理解しなければなりません。

私たちには、バラ色の人生など、一度も約束されていないのです。

私たちは、激しい攻撃に遭う、と告げられています。

そしてそれは、どんどん暗くなります。

ちょうど嵐が近づいている時、どんどん、どんどん暗くなるように。

しかし聖書にあるように、たとえ夜であっても、私たちは光の子どもです。

私たちは、闇の子どもではなく、昼間の子どもです。

ですから皆さん、理解しなければなりません。

私たちは夜の中にいたとしても——見てください。もう、真っ暗です（書記注：イスラエル時間の夜8時前）。

しかし、私たちには、イエスの光があります。

そして私たちは、その闇の中で、それを輝かせるのです。

それから、私たちはこの世のものではないことを、忘れてはいけません。

この世の闇の中で行われたことに、私たちは関わらないのです。

ですから皆さん、どうか強くいてください。

無駄に過剰反応したり、センセーショナリズムに陥らず、聖書にしがみついて、主が完全に支配しておられること、それから中東に嵐はやって来ることを理解してください。

しかし私たちは、ここから出て行きます。

聖書には、神が国々にご自身を現わされる、と書いてあるのです。

信者に、ではありませんよ？

私たちはここにはいませんから。

主は、私たちにご自身を現わす必要はありません。

私たちは、主がどういうお方か知っていますから。

しかし主は、イスラエルの中で崇められます。そうして世が、彼がどういうお方なのかを知るのです。それが、神が、これら敵の残忍な計画が成就するのを許される理由の一つです。神が、彼らが攻撃するのを許され、それでいて、その攻撃の事で、神が彼らを裁かれる。非常に興味深いです。それは、彼らのイスラエルに対する憎しみは、私が原因ではない事を、神は理解しておられるからです。私が、彼らにそれを許したかも知れません。しかしこれは、イスラエルが神の民であるため、彼らの中にある、イスラエルに対する悪魔的・サタンのな憎しみです。そのために、これが起こるのです。

これは、新しく生まれたい限り、御霊に満たされない限り、聖霊を持たない限り、そして聖書を読まない限り、決して理解出来ません。

御言葉に浸らなければなりません。

主と時間を過ごさなければなりません。

聖霊を持たず、聖書を読んでも役に立ちません。訳が分からないでしょう。

しかし聖書が、ヨハネ3章3節（書記注：ニコデモとの対話）で告げている通り、聖霊を持ち、新生していれば、ただ理解出来るだけでなく、全ての理解を超える平安があります。

ただ、皆さんには、これらの事を知っておいてほしいと思いました。

今回のアップデートで、ガザ、ヨーロッパ、シリアの状況が明確になり、実際に何が起きているのかを、皆さんが理解してくだされれば幸いです。

I love you all!

お祈りを感謝します。

今年の若者ツアーが、明日から始まります。

今年はずっと違って、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、フィリピン、日本、ブラジル、パラグアイ、メキシコ、カナダ、アメリカ、フランス、オランダ、イギリスから訪れます。

Behold Israel——イスラエルを見るために、世界中から若者が集まって来ます。

私たちは彼らに投資して、彼らが別人になって帰ることを願っています。

そして、反キリストの教育システムに毒されないように。

全ては、皆さんのご献金のおかげです。このツアーが可能になっただけでなく、これに参加する50人の内、15人に資金援助することが出来ました。

私たちはこういったことを、もっともっと行いたいと思っています。

私たちの資金は、事務所や車や、そういったものに使われず、資金は直接、人に投資されるべきだと思っています。そして、これがまさにこれから行われることです。

だから私には事務所はありません。

これが私の事務所です。家の裏庭。今は、自分の携帯電話をカメラ代わりに使っています。それと、この20ドルの小さなマイクです。

少しは見栄えて、プロフェッショナルに見えることを願いますが。
ただ、こういった物よりも、はるかに素晴らしい事に投資することを選びます。

ありがとうございます。

では皆さんの上に、アロンの祝福を祈って、締めくくりましょう。

	ヴェイシエメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וְיִתְנֶךָ	אֶלְיָךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャローーム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשֶׁם	אֶלְיָךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

イエスの御名によって、この狂った世の中にも、私たちには神の平安、シャローームがあります。

この世は、ソーシャルメディアのせいで、さらに狂っています。

ともかく、この狂った世にあっても、私たちには神の平安があります。

全ての理解を超える平安、平和の主にしか与える事の出来ない平安が、

いつでもどこにいても、皆さんにありますように。

ありがとうございます。

God bless you! I love you all!

ガリラヤより、シャローーム！

ツアーの最中も、さらにアップデートを行なっていきます。若者たちを背後にご覧いただくだけでなく、世界中の人たちが、ここで見たことに関して、どう思い、何と云うかを、皆さんにもご覧いただければと思っています。

皆さんにも、ぜひ私たちとここに来て、現場で毎日、聖書の学びをしていただきたいと思います。

「Behold Israel/見よ。イスラエル」で、今、私たちが生きている時代を理解するだけでなく、この国、この場所を通して、神のご計画も皆さんに理解していただければと思っています。神はいつくしみ深く、イスラエルは神の目のひとみです。神は、全ての事を、イスラエルというレンズを通して見ておられます。もしあなた

が、イスラエルを憎んでおられるなら、あなたは神を知りません。もしあなたが、イスラエルを愛し、イスラエルを支援しておられるなら、恐らく、神の御言葉を理解しておられるでしょう。

そこで問題は、たとえあなたが彼らを愛しているとしても、あなたはどうしますか？

あなたは、彼らに福音を伝えますか？それとも、彼らから隠しますか？

ありがとうございます。God bless you!

ガリラヤより、シャローム。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

イスラエル軍が報復した重要標的の地図 : Israel Defense Forces の公式フェイスブックより The illustration depicts the rockets and mortars that terrorist organizations in the Gaza Strip fired at Israeli civilians 2018. 5. 30

アイアンドーム : Wikipedia 「アイアンドーム」

インジルリク空軍基地の位置 : Incirlik Turkey

F-35 戦闘機 : Wikipedia 「F-35」

Su-57 戦闘機 : Wikipedia 「Su-57」

パレスチナは、イランに利用されている : Israel Defense Forces の公式フェイスブックより For Iran and Hamas, Palestinians are just pawns 2018. 5. 27

セルジョ・マッタレラ伊大統領 : Wikipedia 「セルジョ・マッタレラ」

パオロ・サヴォナ氏 : Bloomberg 伊財務相にサボナ氏浮上、ユーロ離脱に備えプランB策定を主張 2018. 5. 23

ローマ条約調印式が行われた、伊カピトリノー美術館ホール : Wikipedia 「ローマ条約」

エドワード・ヒックス画「ノアの箱船」: 1846年制作 米 ペンシルバニア州 フィラデルフィア美術館蔵